

# 働く世代への働きかけについて（平成29年度中間評価時の結果及び共同保健事業計画）

## 目的

千葉県の重点課題である働く世代の健康づくりに向けて、従業員の健康づくりに取り組む事業所や企業等を増やす「健康な職場づくり」を推進することで、働く世代の健康課題の改善を図り、健康ちば21（第2次）の総合目標である「健康寿命の延伸」、「健康格差の縮小」の達成を目指す。

## 背景

千葉県では、全国同様、死因別死亡割合における生活習慣病（悪性新生物、心疾患、脳血管疾患）による死亡割合が5割を超え、生活習慣病による死亡や治療が40代から増加している。健康ちば21（第2次）の中間評価では、働く世代の食生活・運動・休養等の生活習慣に関する課題がみられた。

個人の健康は家庭・職場・地域等の社会的環境の影響を受けることから、多くの時間を職場で過ごす働く世代の健康づくりを推進していくためには、従業員の健康づくりに取り組む事業所や企業等を増やす環境の整備を図っていく必要がある。

## 健康課題

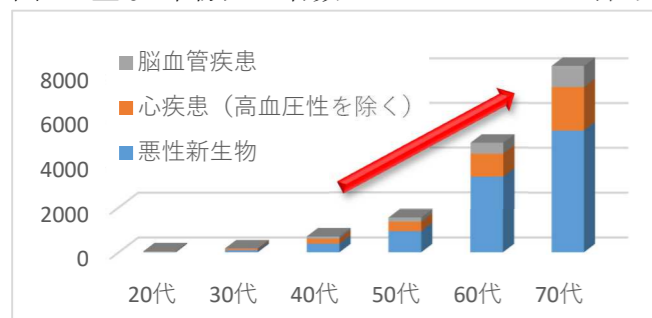
○生活習慣病（悪性新生物、心疾患、脳血管疾患）による死亡割合が5割を越える

表1 死因別死亡割合（生活習慣病） 単位:%

	千葉県	全国
悪性新生物	29.8	28.5
心疾患	17.1	15.1
脳血管疾患	8.1	8.4
合計	55.0	52.0

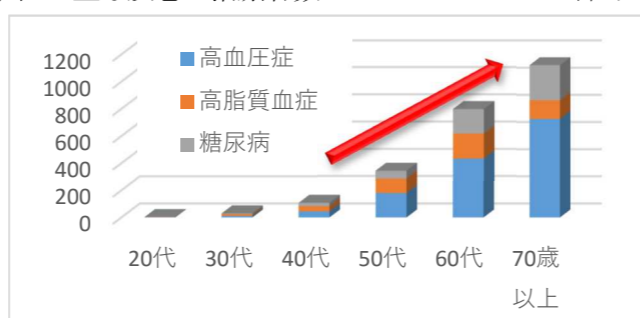
H28年人口動態統計

○生活習慣病による死亡・治療は40代から増加  
図1 主な死因別死亡者数 単位:人



H28年度人口動態統計

図2 主な疾患の治療者数 単位:人



H29年度生活習慣に関するアンケート調査

○働く世代の生活習慣

- ・朝食をほぼ毎日とる者 ⇒男女とも20代で低い
- ・バランスの良い食事をほぼ毎日とる者 ⇒男性20~30代、女性20代で低い
- ・野菜摂取量 ⇒男性30~50代、女性20~40代で少ない
- ・日常生活の歩数 ⇒70代に次いで、男性30代、女性50代で少ない
- ・運動習慣がある者 ⇒男女とも20~50代で少ない
- ・睡眠による休養 ⇒就労時間が長いほど休養がとれていない

H29年3月健康ちば21（第2次）中間評価報告書

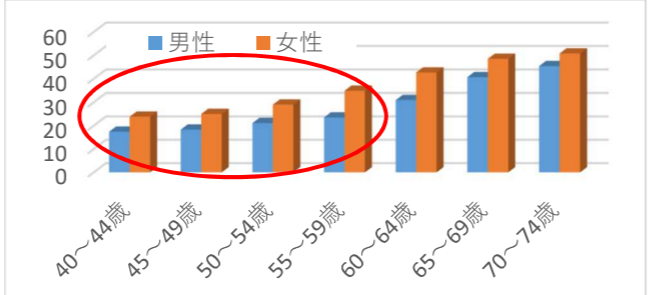
○特定健診受診率が40~50代で低く、60代から増加

表2 特定健診受診率（H27年度） 単位:%

全体	市町村国保	全国健康保険協会	組合健保・共済等
52.9	36.3	45.6	71.9

厚生労働省医療費適正化計画のため提供された数値

図3 特定健診受診率（国保） 単位:%

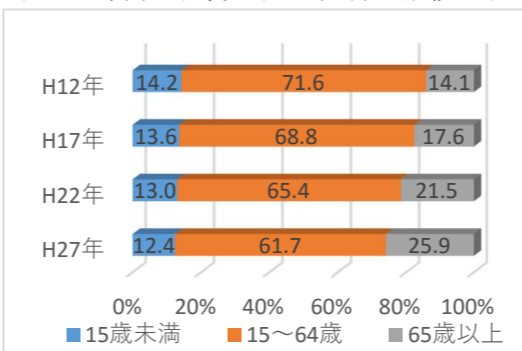


H27年度特定健診・特定保健指導に係るデータ分析事業

## 働く世代の実態

○生産年齢人口の減少

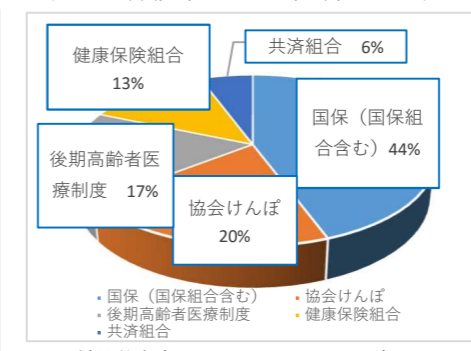
図4 年齢3区分別人口割合の推移 単位:%



H27年国勢調査

○保険者別加入割合

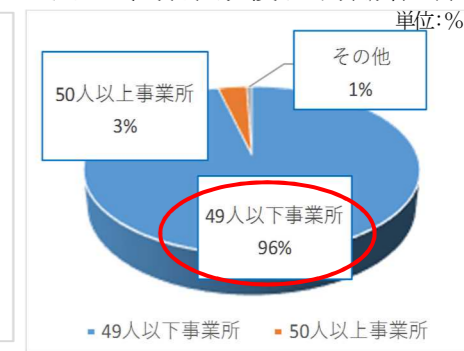
図5 保険者別加入割合 単位:%



※被扶養者含む ※H27年3月末現在  
H30年度保険者協議会資料

○49人以下の事業所が96%

図6 従業者規模別事業所割合 単位:%



※民営事業所のみ ※その他:派遣・出向従業者のみ  
H28年経済センサス活動調査

## 共同保健事業計画及び進捗状況（具体的な取組）

取組の方針 ○県民の健康状態等のデータ集積 ○健康な職場づくり推進の環境整備

事業内容	H30年度	R1年度	R2年度	R3~R4年度
特定健診・特定保健指導データ分析事業（国保）	対象保険者拡大の検討			
健康づくり情報の発信		協会けんぽメールマガジン		
		情報発信する事業所や企業の拡大		
健康づくりに取り組む事業所		いきいき宣言事業所メールマガジン		
	(R元から開始) 取組事例集の作成・配布	集積事例の内容検討	事例集積作成	配布(約2600冊)
(R元から開始) セミナーの開催		企画内容の検討		
			年1回開催	
(R2から開始) インセンティブの仕組み		内容検討 体制づくり		元気ちば! チャレンジ事業

＜評価指標＞健康ちば21（第2次）の各指標、特定健診・特定保健指導データ、健康な職場づくり宣言事業所数（協会けんぽ）等

## 期待される効果

